

設計図書等に対する質問及び回答

工事番号 道36

工 事 名 市道大崎西30号線改良舗装工事

番号	質問内容	頁	回答
1	(排水構造物工_2号ボックスカルバート工について) 施工箇所となる排水路には富益団地側より常時多くの排水が流れ込んでいますが、ボックス施工時、排水の迂回が可能でしょうか？ 迂回が不可能な場合は、常時排水による水替え協議は可能でしょうか？	内訳書 頁0-0008	本年度の施工箇所に2号ボックスカルバート工は含まれておりません。 また、その他の排水路の現況水量は、工事施工に影響が無いと想定されるため、水替えは不要と考えます。
2	(擁壁工_小型重力式擁壁の施工について) 直高2m以上の構造の擁壁があり、生コン打設の際は高所作業になると予想されますが、足場の協議は可能でしょうか？	図面 構造図 (2/5) 小型重力式 擁壁 構造図	高さ2m以上の箇所で作業を行う場合など、墜落防止等の安全措置が必要な作業となることが想定される場合は、墜落防止措置等を講じることとし、事前に協議を行うこととします。
3	(工事着手に支障となる事項について) 県との協議・申請、地元地権者との用地に関わる調整、及び信号機設置等、工事着手を遅延する要素は、ありますか？ 支障となる事項があれば、いつ頃解決する予定でしょうか？	現場説明書 その他	現時点において、工事着手に支障となる事項はありません。
4	(縁石工_路面排水溝について) 現在歩車道境界ブロック3.6m毎に水抜き穴・排水管（擁壁を貫通して）が設置されており、路面の排水を現場打ちL型擁壁で受ける構造となっています。 今回の工事で歩車道境界ブロックを設置し直すこととなりますが、路面排水に関わる構造図または数量の計上がありません。 通常通り、路面排水を水抜き穴にて集水し、歩道上を表面排水し、新しい現場打ちL型側溝に流すと考えてよろしいでしょうか？	図面 標準断面図 主要地方道 米子境港線	ご推察のとおり、歩車道境界ブロックの水抜き穴にて集水し、歩道路面排水と同様に現場打ちL型側溝へ排水することを想定しています。

5	(中央分離帯_植樹撤去について) 用地内及び中央分離帯の植樹の撤去 は見込まれないのでしょうか？	現地	本年度の施工箇所には中央分離帯部分は含まれておりません。 また、施工箇所内の支障木等は撤去済の見込みですが、現地状況により新たに支障となることが判明した場合は、協議を行うこととします。
---	---	-----------	--